

平成 30 年 1 月 14 日

医療機関の長 様

広島市長 松井 一實
(健康福祉局保健部健康推進課)

冬期限定における大腸がん検診の検体郵送回収について (依頼)

向寒の候、貴職にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より本市保健衛生行政に御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では平成 28 年度より、大腸がん検診の検体を受診者から医療機関が回収する際の回収方法について、冬期(12月～2月)かつ問診実施済の場合に限り、郵送での回収を可能にすることといたしました。

これにより大腸がん検診受診のために複数回医療機関に出向くことが減り、便の出にくい人及び仕事や介護等時間的制約のある人の負担が軽減され、大腸がん検診を受診しやすくなるものと思われます。

各医療機関におかれましては、検診受診者が検体を郵送で提出することを希望された場合には、受診者への説明や専用封筒の取り扱いなどの業務に御対応いただくこととなり、御負担をお願いすることとなりますが、受診者の負担軽減や受診率向上につながることに鑑み、是非御協力のほどよろしくお願いいたします。

また、郵送回収を奨励するものではございませんので、郵送を希望されない場合には、現状通りのお取り扱いをお願いいたします。

【問い合わせ先】

広島市健康福祉局保健部健康推進課

保健指導係 北野・富永

〒730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号

電話：082-504-2290

医療機関での大腸がん検診 検体郵送回収のフローチャート（12月～2月限定）

大腸がん検診希望者
(がん検診受診券必要)

【受診一回目】

- 1 医師が所定の様式を用いて問診（現在の症状、既往歴、家族歴）を行う。
- 2 検査キットを渡す。
この時、便の出にくい人、仕事や介護等時間的制約のある受診者には、郵送で提出可能な旨を伝え、提出方法についての意向を確認する。

平成23年3月 厚生労働省「がん検診推進事業Q&A」

Q 郵送での検査キットの回収は可能であるか。

A 検査精度に影響がない方法（冬期限定等）であれば実施可能であると考えます。

- 3 がん検診受診券を回収し、自己負担金 400 円を徴収する。（自己負担金が免除になる場合があります。）
〈自己負担金の免除対象者〉
 - ・後期高齢者医療被保険者証
 - ・「70歳以上であることの証明書」（例：健康保険証、運転免許証等）
 - ・生活保護世帯であることを証明する「被保護者証明書（夜間・休日等受診用）」
 - ・市民税非課税世帯であることを証明する（世帯全員分）（例：市・県民税課税台帳記載事項証明書）

【持参希望者（受診2回目）】

- 2日間の採便後、医療機関へ検体を持参
- 持参の場合は、2回目の受診時に問診を行うことも可

【郵送希望者（受診の必要なし）】

- 1 キットと一緒に検体郵送専用封筒(※)を渡し、以下について説明する。
 - ア お渡しする検体郵送専用封筒以外の封筒では郵送できないこと
 - イ 採便後速やかに送付すること
 - ウ 検体を入れる際には、封筒に記載の注意事項をよく読んで封入すること
 - エ 切手を貼って投函すること（受診者負担）
 - オ 郵送可能期間（12月1日～2月28日）を過ぎてしまった場合には、郵送せず、医療機関に持参すること
- 2 受診者は2日間の採便後、検体を検体提出用封筒で医療機関へ郵送する。

(※) 検体郵送専用封筒が不足する場合は、広島市健康福祉局保健部健康推進課へご請求ください。

- ・受領した検体を、検査機関又は自院で検査する。
- ・医師が問診の結果を参考に、便潜血検査結果により判断し、「精検不要」、「要精検」の区分により検診結果を判定する。
- ・医療機関は、検診の結果について、速やかに直接受診者に知らせる。